

令和2年度駒形中学校 学校経営の方針

校長 渡邊宏之

☆教育目標……心身ともに健全で、高いところざしをもち、社会に貢献できる人間を育てる

☆学校経営の方針……日々の授業を充実させ、自ら学び考える力と豊かな心を育む駒形中学校
～つながりと積み重ね～

創立73周年となる駒形中学校は、21世紀の担い手となる子どもたちの「確かな学力」や「豊かな心」を育むために、70年以上守られてきた伝統をしっかりと受け継ぎつつ、保護者・地域とのつながりを深めながら、日々の教育活動の改善に向けての歩みを続けてまいります。

【育てたい生徒像】

- こ……ところざしの高い生徒
(将来の夢や理想を抱いて、主体的に社会に貢献しようとする生徒)
- ま……学び続ける生徒
(生涯にわたり新たな知識や技能、技術を身に付けようとする生徒)
- が……我慢できる生徒
(自己の感情や行動を統制し、よりよい生活や人間関係を形成しようとする生徒)
- た……他を思いやる生徒
(自分の良さや可能性に気付くとともに、他者を価値ある存在として尊重する生徒)

【目指す教師像】

- 生徒と徹底的に向き合う教職員
- 組織として、課題に取り組む教職員
- 研究心をもち、専門性の高い教職員
- 誰からも信頼される教職員

【目指す学校像】

- 一人一人が居場所を感じ、輝くことのできる学校
- 健やかな心身と豊かな人間性を育む学校
- 家庭や地域、関係小学校と連携を図る学校

☆今年度の取組の重点

①日々の授業の充実と確かな学力の向上

- ・授業改善に努め、生徒の興味、関心、自らの問いを引き出す授業実践に取り組みます。
- ・ICT機器を効果的に活用した授業の工夫に継続して取り組みます。
- ・「駒中スタディ」の活用の充実により、学習習慣の育成と学習意欲の向上を図ります。

②豊かな心の醸成

- ・「特別の教科 道徳」の充実と、教育活動全体を通じて規範意識、公共心、奉仕の精神などの育成を図ります。
- ・「修復的会話・RJサークル」や「アンガーマネジメント」を継続実践し、生徒同士のより望ましい人間関係を構築します。

③組織的な生活指導・特別支援教育の充実

- ・全教職員で組織的に情報の共有、指導の連携を図り、いじめの早期発見、早期対応を図ります。
- ・生徒一人一人にきめ細かな支援と専門家と連携した相談体制を充実します。

④開かれた学校づくり

- ・学校だよりや学校ホームページをはじめとする情報発信の工夫に努めます。
- ・「駒中まつり」や「ふれあいコンサート」などを通して、地域との関わりを深めます。

